

新規就農先輩の軌跡 No.129

<2020 (R2) 7月掲載>

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：小島 良太（おじま りょうた） 住所：南あわじ市八木 年齢：36歳</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>経営内容： レタス150a、たまねぎ20a、ブロッコリー・カリフラワー40a 労働力：本人、妻、雇用（30日分）</p>  <p>ブロッコリーの収穫風景</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>平成24年7月 南淡路農業改良普及センターが開催する新規就農講座を受講</p> <p>平成24年8月～平成25年7月 大崎農園にて研修を受ける。</p> <p>平成25年8月 就農</p> <p>平成27年7月 青年等就農計画の認定及び青年等就農資金利用計画の承認を受ける。</p> <p>現在に至る</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点 健康面が改善。旬のものが食べられる、家族の時間が確保できる。</p> <p>○苦労した点 未整備田多く効率的な作業が難しい。 中古の安い機械を揃えること。 技術的に未熟で不安だった。</p>
<p>農業をめざした動機</p> <p>夫婦とも淡路が好きでよく来ていた。サービス業に従事していたが、ものづくりをしたかったので移住。 知人が淡路におり、タイミングもよかった。</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <p>集落内の住民や農家との付き合いをきっちりすること。 市や普及センター等の関係機関と関係を保つこと。 就農候補地のリサーチ（人農地プランの有無等）を十分すること。 知識と体力が必要。</p>